

栗原みつはる議会報告

Vol.26～「介護・福祉の未来」を創る～



◆川越市人口◆

令和5年10月1日現在

人口	世帯数
352,760人 (▲264人)	167,002世帯 (+106世帯)

*カッコ()内は令和5年6月1日対比増減

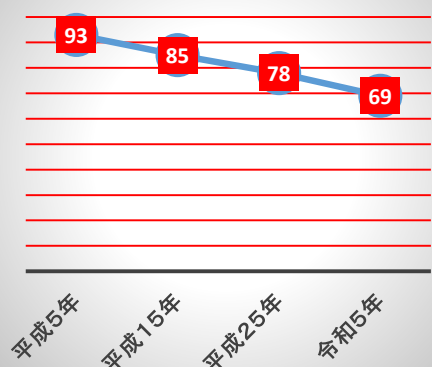
【一般質問】自治会加入促進



自治会とは、子どもたちにとって家族以外の一番身近な大人との最初の接点・地域交流への入り口であり、大人になっても当時、自治会行事でお世話になった方々が子どもの時同様に名前呼び、気さくに話しかけてくれたりと、長い時間をかけてこの町に生まれて良かったと郷土愛を育んでくれる地域になくてはならない存在ではないかと思います。

ですがその自治会が現在、高齢による退会や共働き世帯増加による未加入、さらには役員の成り手不足などで今後の存続に関わるような問題に直面しております。各自治会加入率が低下を続ければ、30年先には、現在283の自治会から組織される川越市自治会連合会を通して市から依頼される多くの業務も停滞してしまうのではないかと危機感を感じざるを得ないことから今回一般質問として取り上げました。

川越市自治会加入率



本市の自治会加入率は30年前と比較して、今年度は69%まで低下しており、特にこの10年では毎年約1%程度低下しています。

越谷市61.1%、所沢市58.6%と比較しますと10%程度高い水準で維持できているものの、単身・高齢世帯の増加やネットなどで様々な情報が容易に入手できるなど、自治会加入の必要性を実感しづらい環境の変化などにより低下速度が上がっています。

一方で、市が自治会に依頼する事務量の30年前との比較では、行政需要の多様化に合わせて市が行う事務の範囲が広がっているため自治会にお願いする業務も増加しています。

主な事務には、体育協力員や民生委員、保健推進委員などの推薦、

募金活動への協力、防災事業やごみゼロ運動、ラジオ体操など様々な事業への地域での参加や実施などの他、集会施設や防犯灯の維持管理、公園美化活動など多くの事業を実施しており、それにかかる経費の負担や市への補助金等申請事務などがあります。

現在市でも自治会加入促進チラシを配布し、また自治会連合会と市及び不動産取引業団体が協定を結び、仲介等の際に自治会への加入を呼びかけていただいておりますが、加入率低下に歯止めがかかっていません。



そのような状況でも、何とか自治会に入っていたらこう、加入率低下を食い止めようと各自治会は様々な取り組みをされています。

◆ホームページ作成によるタイムリーな情報発信、及び未加入世帯へのアプローチ

◆シルバー会員制度導入による高齢世帯の退会防止、及び地域との繋がり維持

◆独自の加入促進チラシ作成・勧誘 ◆世代交流や子どもたちや高齢者に特化した行事開催

◆成り手不足解消のための役員・班長事務等の軽減 ◆実費での町内監視カメラを設置

◆独自の要支援者名簿作成 ◆夏休み子ども学習支援や子ども食堂の開催、登下校時の児童の見守り

これ以外にも各自治会は地域を良くするための様々な取り組みをされており、このような特色のある取り組みを市が把握し、相談があった際に自治会同士を繋いでいくよう指摘しました。



岸町二丁目ホームページ

大きな災害が起きるたびに多くの方が命を落とされる一方で、隣近所の助け合いで九死に一生を得るといった報道は誰しもが目にしたことがあると思います。

若いうちは自治会に加入していなくても地域以外のコミュニティがあり、情報もネットなどで容易に入手できますが、子育て・不登校の悩みなどを地域の方々のおかげで解決できたという方もいます。

高齢になった際には、地域に話し相手がいなくて認知症・フレイルなどを若いうちに発症してしまう可能性も高まります。結果地域の助けがなければ災害の際には逃げ遅れてしまうかもしれません。

子育て世帯や高齢者世帯、一人暮らしの女性が危惧する不審者情報などは、学校、保護者、自治会などから回ってくることもあり、子どもの顔を覚えておいてもらうことで、地域の方が見守ってくれたり、危険な時には注意・報告してくれたり、地域みんなで子どもを守ることができるものと考えます。

このようなことこそ自治会に加入する大きなメリットではないでしょうか。

市民が行政に関わる場所は市役所や市民センターだけではなく、市民が行政に関わる機会は転入や転居の時以外にもあります。多くの市民が自治会に触れる機会を増やし、自治会活動・自治会の重要性を理解してもらい参加してもらうためにも、自治会案内チラシの配布場所や機会をもっと広げていくべきと提言し、配布場所の増加や配布方法を検討し、加入率向上につなげていくとの答弁をもらいました。

活動報告



前職ワタミ 創業者と
新店お披露目会にて



並木夏祭り



古尾谷八幡神社例大祭

岸町二丁目盆踊り



並木敬老会



岸町一丁目敬老会

栗原みつはる プロフィール

昭和46年6月9日川越市岸町生まれ(52歳)、南古谷並木在住、9歳と7歳の娘の父

ひつじ幼稚園卒園、仙波小学校・砂中学校卒業

1990年3月 城北埼玉高等学校卒業

1994年3月 立教大学経済学部経営学科卒業

1994年4月 カナダへ語学留学

2001年5月 ワタミフードサービス(株)入社

営業部長まで務め経営・サービス業を学ぶ

2012年9月 ワタミの介護(株)へ転籍

有料老人ホーム エリアマネジャー

2014年12月 SKYケアサービス(株)設立 取締役

2015年4月 川越市議会議員選挙に挑戦し、次点惜敗

2017年1月 川越市議会議員に初当選

2017年9月 MKコンシスト(株)設立 取締役

デイサービスリーディング岸町・南古谷運営

居宅介護支援事業所 リーディング運営

2023年4月 川越市議会議員選挙当選(3期目)

川越地区消防組合議員、土地開発公社理事

総務財政常任委員会委員、議会運営委員会委員、都市計画審議会委員

所属団体: 川越商業経営研究会、川越葵ライオンズクラブ

川越立教会、川越市倫理法人会、川越商工会議所青の会

川越法人会、岸町囃子連、南古谷歌謡サークル、KMC

ご意見・ご感想・皆様のお声を聞かせください!

南古谷事務所 〒350-0023 川越市並木77-8

岸町事務所 〒350-1131 川越市岸町1-25-18

携帯: 090-6509-2419、電話: 049-235-8425

電話: 049-247-7701